

16期3号 医療安全ニュース

今回のテーマ：インシデント報告ってなんのため？

日々の業務の中で「ヒヤッとした」「危なかったけど大丈夫だった」
そんな経験はありませんか？

実はその“気づき”を報告することが患者さんの安全を守る一番の近道です

どうして報告が大事なの？

- ・同じことを繰り返さないために
- ・安心できる職場づくりに
- ・患者さんも、自分自身も守られる



よくある誤解

- ・「報告したら怒られる？」⇒ いいえ、責めるためではなく**改善**のためです
- ・「大したことないし・・・」⇒ その“大したことない”が大事な**ヒント**です

報告してほしい身近な事例

- ・オーダーを隣の患者さんに入力しそうになった
- ・手術予定の左右を間違えて入力したが、すぐに誤りに気づいた
- ・患者さんがベッドから降りる際にふらついたが、支えて転倒を防いだ
- ・患者さん自ら、点滴を抜去した
- ・機器設置を間違えたが直前に気づいた
- ・別の患者さんを検査案内しようとした
- ・会計係が違う患者さんの会計をした
- ・廊下に水がこぼれていて、患者さんが滑りかけた 等



職員の皆さんへ

ヒヤリ・ハッとしたことはもちろん、患者さんの予期せぬ行動や環境で起きた出来事も報告してください！！

あなたの気づきと体験が、事故を防ぎ、みんなの安全を守ります



～お知らせ～

各部署の15期医療安全年間計画最終評価と16期医療安全業務改善計画書をメール配信しています。

今月の一言

つもりがつもって ミスがおきる

引用：いろはかるた